

**問** 本町では平成19年度に2学期制を導入して7年目になる。保護者からは「テスト範囲が広く大変である」「夏休み前に通知表を見たい」との意見がある。①3学期制に戻した市町村があるというが、どうこの市町村か、どのような理由か、②また本町でも保護者や先生方にアンケートを実施して検証する時期に考えていると思う。

**教育部長** 3学期制に戻した市町村は石垣市、大宜味村、南城市佐敷地区である。理由は、「2学期制では夏休み前に通知表がもらえずはじめがつかない、中学校では評価が2回で、挽回の

**建設部長** 平成25年度は与那城、桃原、内間の児童公園を含め7公園を予定している。主にブランコ、滑り台、健康器具等の修繕等である。

**問** 中部南地区火葬場・葬祭場建設の基本構想並びに基本計画の進捗状況は。

**総務部長** 西原町、宜野湾市、北谷町、北中城村、中城村の5市町村による(仮称)中部南地区火葬場・斎場建設基本構想、基本計画の策定は、検討委員会を重ね、平成25年7月末に報告書を策定済みである。施設



地域活動支援センター さんさん

**問** 子育て世帯の経済的負担の軽減するため乳児0歳児が使用する「おむつ」の助成事業がすでに実施されている市町村では、若い父母さん方に大変喜ばれている。「おむつ」は子育てには必要だが家計を圧迫する。ぜひ、実施してほしい。

**福祉部長** 「おむつ」の助成は町単独の予算となり、厳しいと考えております。

**問** 町内の保育園児の約三分の一が在園する認可外保育園施設に、国からの「防音対策助成」が改めて活用が実施されるとの事。「児童福祉法」の理念に照らしても町の保育行政として推進してほしい。

**問** 環境問題や経済効果から早急な町の街灯LEDに切り替えを。

**建設部長** 町全体の街灯のLED化は、省エネや環境面から重要で、実施に向けて検討します。

**問** 再生可能エネルギーの導入促進も重要で、遊休地や屋根を利用し、「地域産エネルギー」活用すべき。土地所有者と事業者のマッチング(仲介)推進事業を行ってほしいが。

**総務部長** マッチングは他自治体で実施されており、地域経済発展等にも資するもの。検討します。



子どもたちに関する医療制度の「自動償還払い」を我が町でも導入すべきだ。

◇2学期制の検証  
◇児童公園の整備  
◇NPO法人  
さわふじへの支援



大城誠一 議員

機会も減り、高校受験にも影響する「子どもや保護者にとつては、夏休み前に評価がもらえる3学期制の方が学習の振り返りができやすい」等である。

**問** 2学期制の検証については、授業時数の確保や学力の面も向上しているの、特に2学期制に問題はないと考えているが、成果および課題の検証は必要と考えており、今後検討したい。

**問** 児童公園の整備が進んでいる。どの公園をどのように整備するの。

**建設部長** 平成25年度は与那城、桃原、内間の児童公園を含め7公園を予定している。主にブランコ、滑り台、健康器具等の修繕等である。

の位置づけや計画地の選定、施設機能や規模などの調査を行い、建設候補地についても絞り込んでいる。

**問** NPO法人さわふじについて伺う。平成26年度には、新庁舎に移転する。その後の支援をどのようにするの。

**福祉部長** 新庁舎には、同支援センターが入る場所の確保はできませんので、新しい活動場所の確保に努めるよう協議してきましたが、現時点で場所の確保はできていない。

**介護支援課長** 当NPO法人とは、今後の展開の話し合いを持っており、就労支援B型も視野に入れて活動の幅を広げる努力をしています。

◇乳児への「おむつ」費助成  
◇認可外保育園の補助拡充  
◇子ども医療費  
自動償還払い

**問** 子育て世帯の経済的負担の軽減するため乳児0歳児が使用する「おむつ」の助成事業がすでに実施されている市町村では、若い父母さん方に大変喜ばれている。「おむつ」は子育てには必要だが家計を圧迫する。ぜひ、実施してほしい。

**福祉部長** 「おむつ」の助成は町単独の予算となり、厳しいと考えております。

**福祉部長** 認可保育園に防音助成事業は行っていますが、認可外への補助も行うのであれば、園と調整していきます。

**問** 災害はいつ来るのかわからない。町内の各小中学校は避難地指定です。食糧備蓄倉庫・自家発電等の整備が早急に必要です。

**総務課長** 防災担当部局や教育局と調整し精査します。

**問** 環境問題や経済効果から早急な町の街灯LEDに切り替えを。

**建設部長** 町全体の街灯のLED化は、省エネや環境面から重要で、実施に向けて検討します。

「子どもたちに関する医療制度の「自動償還払い」を我が町でも導入すべきだ。

**福祉部長** 自動償還払いは子どもたちの医療費の自己負担分を、保護者が町に申請の手続きなしで自動的に助成金が払い込まれるという制度ですが、県との調整を含めて導入を検討します。

**事務所建設補助金の増額**  
**問** 自治会長会から「自治会事務所建設補助金」の改善要請はどの様に検討したか。

**副町長** 現状の補助額は100万円ですが資材の高騰や耐震化の補強等を踏まえ300万円に改めたいと考えています。

◇待機児童の解消策  
◇学力テストの結果を受けての対策



仲宗根健仁 議員

**問** 町内の待機児童の数は何名か。

**福祉部長** 9月1日現在の待機児童数は73名です。

**問** 認可を目指している認可外保育施設はどのくらいあるの。

**福祉部長** 県が実施した認可移行希望調査によると、町内では3園の認可希望があり、調査に未回答ではあるが、その後の聞きとりによる1園を含めた4園が認可化を希望しています。

**問** 加速化プランの中にも手助けするという、5本柱のパッケージがあるから希望であればその方向で、待機児童を解消していくことも必要だと思つた。

**福祉部長** 待機児童解消のためには弾力運用とか、認可外を新たに認可園にし、増員を図ってきたものの、一時的に待機児童は減るが、定員増による認可外保育園からの応募者が殺到し、結果としてまた待機児童が増えてくるということになってきています。

**問** 待機児童解消加速化プランの参加自治体について、全国で351市区町村、県内では16市町村の取り組みが採択されたという報道発表されており、西原町が手を挙げなかった理由は何なのか。

**福祉部長** 町では、そのプランが開始される前から保育所緊急整備事業を実施しており、平成24年度の事業完了分として、西原保育園の新設及びびさくらんぼ保育園の改築を終えています。今年度は繰越事業として、さわふじ保育園の改築を実施しています。また、保育士等処遇改善臨時特例事業としても採択しており、保育士の処遇改善に取り組み認可保育園に対し、人件費の一部を補助する予定で



全国学力テストの結果を受けて、文教のまち西原町として、どのように取り組むのか。

**教育部長** 本町に於いては、全国平均以上のレベルに達している小学校が数校あり、その学校の取り組みを町内の全小中学校で共有して取り組んでいきたい。

**問** 西原町内の小中学生に於ける携帯電話の所持率は。

**教育部長** 小学校で25%、中学校で46%です。

**問** 学校では所持を認めているのか。

**教育部長** 原則として学校への持ち込みは禁止ですが、家庭の事情等で持ち込み許可申請があった場合、内容を精査し許可をします。

**問** 新県道29号線の拡幅工事について。坂田上原線はトビトビで施工されていますが完了の時期はいつか。又この県道は那覇、北中城線でもあるが、第一工区から第三工区迄の全体的な流れを伺いたい。

**土木課長** 翁長上原線は現在施工の状況が60%で今年も2ヶ所2件に分けて工事発注しており、1ヶ所がオニキスから上原交差点後1ヶ所がキリ短の下から棚原の信号機に向う擁壁の工事が予定されています。

**建設部長** 那覇、北中城線第一工区の進捗状況は11.6%で30年完了予定で、第二工区の進捗状況12%で

29年の完了予定です。

**問** 区画整理事業ナゴイ地区について。モノレール西原駅設置の為、この地区の区画整理が組合方式でなされていくときいています。なぜ今迄通り町主体の区画整理方式を採用しないのか伺います。

**都市整備課長** 町も総合的見地から判断している問題が出るので地権者と話し合い、基本構想・基本計画・資金計画等、町もかわっていききたい。

**建設部長** この地区は面整備が必要であり組合方式のほうがスピード感があり、町では西地区の進捗状況が25%であり人員の問題もあり進捗率が80%進まない地域での区画整理事業は取組めない状況にあります。

桃原の資材置場について。現在の状況はどうなっていますか。

**農業委員会事務局長** 資材の撤去なんです、以前から再三現状回復して片づけするように指導していますが放置されているのでこれから強く指導していきたい。

**問** 西地区区画整理地内の高圧線鉄塔が移動と3ヶ所の鉄塔が移動と



工事が進む新県道 29 号線

聞いているが、現在の場所と移動場所はどのようになっていますか。

**都市整備課長** 西地区に3基あり照応の原則で仮換地をやり、現在の鉄塔下の地権者は鉄塔下に移動、現在沖電との調整は高さの問題で、町では最低でも20mの確保を目指しています。又地権者にも状況を説明して了解を得ている所でありま

**建設部長** 3基の鉄塔の移動距離は徳佐田側で現在地から北へ30m上がり、協会付近の鉄塔は北に約50m上がり、県道29号線付近の鉄塔は西に約60m移動となっています。